

# 2022年度 環境経営活動レポート

(対象期間： 2021年 10月 1日 ～ 2022年 9月 30日 )



株式会社 丸真熱処理工業

山梨県甲斐市玉川1578

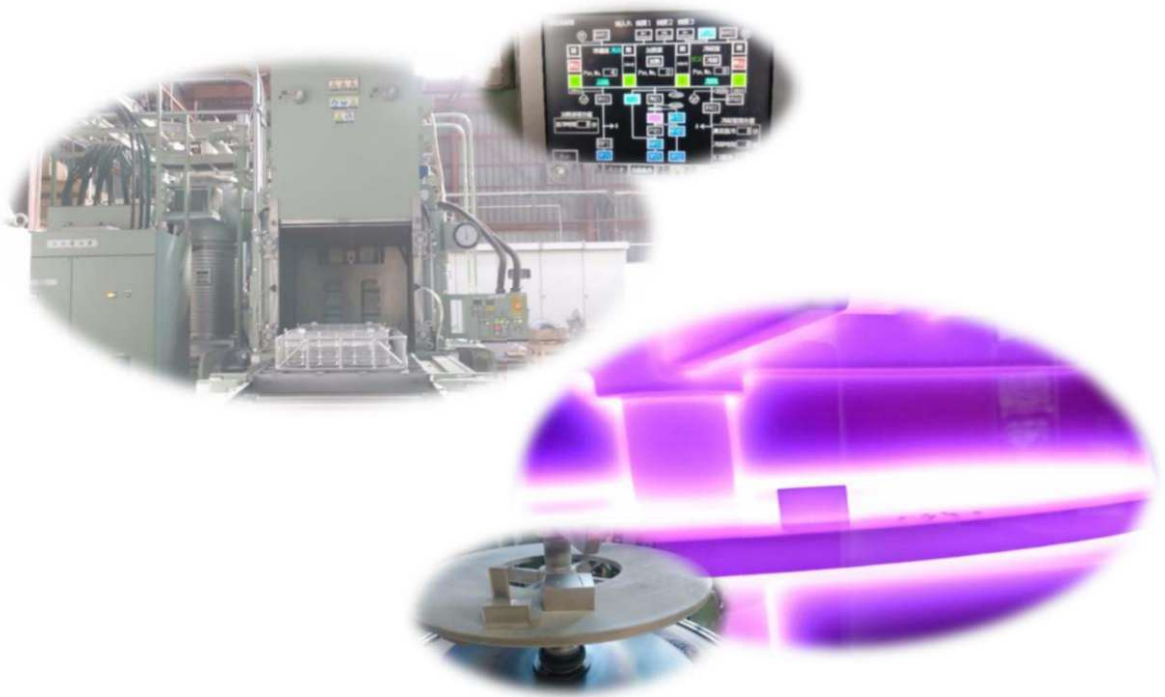
電話 055-276-4952

FAX 055-276-5041

作成日： 2022年12月2日

## もくじ

1.環境方針	P.3
2.組織の概要	P.4
3.実施体制図及び役割・責任・権限表	P.5
4.主な環境負荷の実績	P.6 P.7
5.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	P.7
6.代表者による全体の評価と見直し	P.8
7.環境活動の紹介	P.8



## 『 環境理念 』

当社は一般金属熱処理業(鉄鋼・非鉄金属・金属製品)として、昭和47年の創業以来、お客様第一のもと、高品質の維持と短納期を目標に社員一人ひとりが責任と誇りを持ってこれまで努めてまいりました。

また、地域環境に与える影響を再認識し、社員一丸となって、安全で環境に配慮し、日々の仕事を通じてコスト管理能力・現場管理能力・お客様との交渉能力を高めるよう精進することと安全衛生活動に努めています。

株式会社丸眞熱処理工業  
代表取締役 高木 克彦

## 環境経営方針

当社は、鉄鋼・非鉄金属・金属製品における一般金属熱処理を行う企業として、

1. 電力及びガソリンによる二酸化炭素削減に努めます。
2. 工程改善により消費電力量を抑え二酸化炭素削減を図ります。
3. 省資源・廃棄物削減・リサイクルを推進します。(循環型社会の構築)
4. 節水活動により水使用量の削減に取り組みます。
5. 洗浄工程の改善により洗浄剤の削減を図ります。
6. 環境に配慮した製品の加工を推進します。
7. 会社周辺の清掃活動を行います。
8. 全職員に環境方針を周知して環境意識の向上を図ります。
9. エコアクション21に関連する法規制等を遵守します。
10. 環境経営の継続的改善に取り組みます。

制定日：2020年12月7日  
改定日：

代表取締役 高木 克彦

## □ 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

(株)丸眞熱処理工業  
代表取締役 高木 克彦

(2) 所在地

本 社 山梨県甲斐市玉川1578  
第二工場 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1683-5

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 若尾 博明 TEL : 090-8814-0040  
担当者 生産技術 課長 志村 政博 TEL : 090-4370-4682

(4) 事業内容

金属熱処理  
主要製品: 一般金属(鋼材)

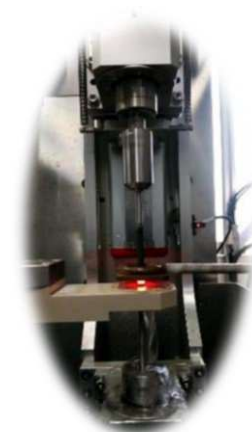
(5) 事業の規模

製品出荷額 6.7 億円(2021年10月～2022年9月)

	本社	第二工場	合計
従業員	33	4	37
延べ床面積	1048.15	657.96	1706.11

(6) 事業年度

2021年10月1日～2022年9月30日



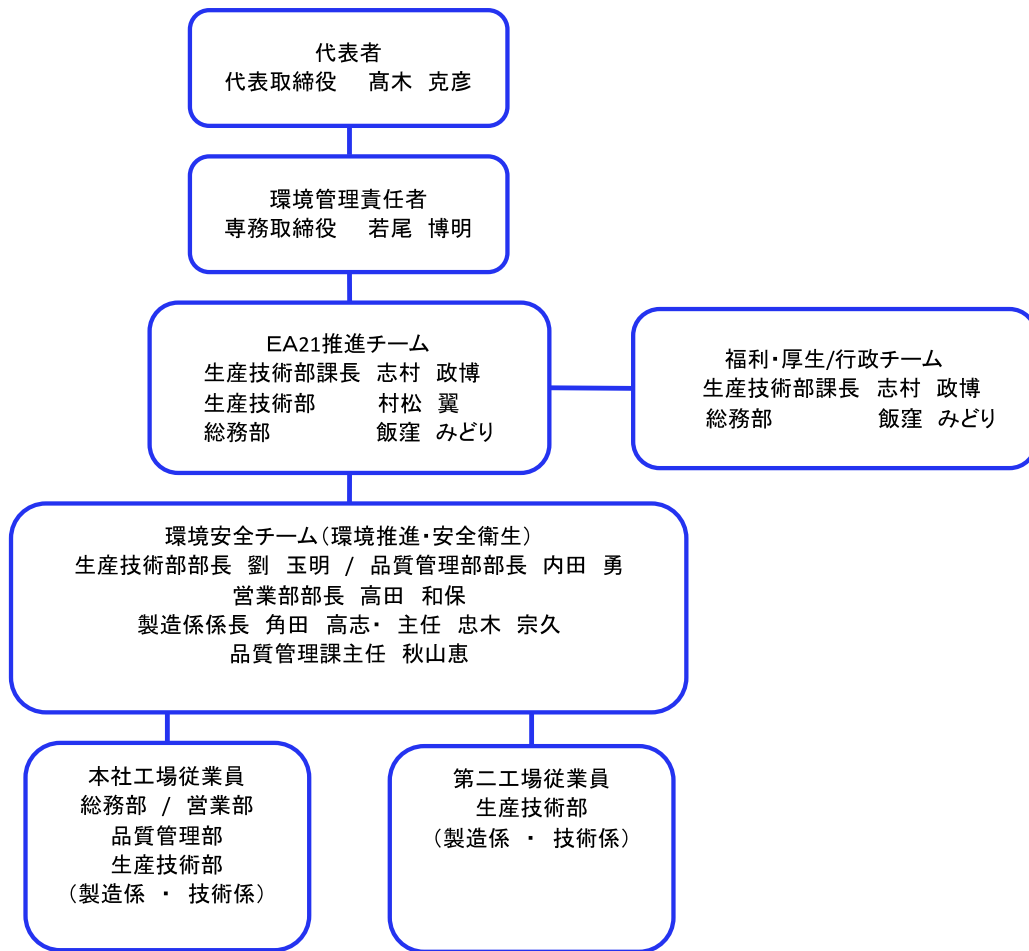
## □ 認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名 : (株)丸眞熱処理工業  
対象事業所 : 本社工場  
第二工場

対象外 : 無し

活動 : 一般金属熱処理

## □実施体制図及び役割・責任・権限表



【代表取締役】	【環境管理責任者】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営における課題とチャンスを明確にする</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を定期的に準備</li> <li>・実施体制において各自の役割及び責任を全従業員へ周知</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者に委任され環境経営システムの構築、運用の管理責任者</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
【EA21推進チーム】	【福利・厚生/行政関係】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標の策定・環境コミュニケーションの総括窓口</li> <li>・マネジメントシステムの構築・実施・維持・運用上の管理</li> <li>・文章及び記録の作成・管理・保管</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理・遵守評価の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内インフラ整備</li> <li>・各行政に関する資料作成・申請・保管</li> </ul>
【環境安全チーム】	【全従業員】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5Sの推進</li> <li>・作業環境の問題点の是正・予防処置の実施</li> <li>・作業環境の改善</li> <li>・化学物質(化管法)のSDS等の調査・審議</li> <li>・環境活動の是正・予防を従業員に指導し結果を環境管理責任者へ報告</li> <li>・環境活動状況の確認と記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針と環境への取り組みの重要性を理解</li> <li>・環境経営方針と環境関連法規の遵守</li> <li>・環境活動を自主的・積極的に参加</li> </ul>

制定日：2020年12月7日  
代表取締役 高木 克彦

## □主な環境負荷の実績

工場	項目	単位	2021年 (基準年)	2022年
本社工場	二酸化炭素排出量	Kg-CO2	1,523,105	1,523,105
	廃棄物総排出量	Kg	35,282	31,197
	一般廃棄物排出量	Kg	2,652	2,407
	産業廃棄物排出量	Kg	32,630	28,790
第2工場	二酸化炭素排出量	Kg-CO2	465,996	421,512

電気小売業者 登録番号	A0269	電気事業者名		温室効果ガス排出係数 (Kg-CO2/KWh)	0.441
		東京電力エナジーパートナー(株)			

### 【本社工場】

項目	年度	2021年 基準年	2022年		結果	2023年 (目標)	
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	Kg-CO2 基準年比	1,422,898	-	1,429,561	達成	-	
	原単位		2,201.34	2,128.84		100%	2,107.56
	基準年比	2,246.27	98%	95%		99%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	Kg-CO2 基準年比	59,155	-	55,295	達成	-	
	原単位		92.45	82.34		93%	80.70
	基準年比	93.39	99%	88%		98%	
その他燃料による二酸化炭素削減	Kg-CO2 基準年比	41,052	-	44,430	未達成	-	
	原単位		64.16	66.16		108%	64.84
	基準年比	64.81	99%	102%		98%	
上記、二酸化炭素排出量合計	Kg-CO2 基準年比	1,523,105	-	1,529,286	達成	-	
	原単位		2,357.95	2,277.35		100%	2,253.09
	基準年比	2,404.46	98.1%	94.7%		98.9%	

一般廃棄物の削減	Kg 基準年比	2,652	-	2,407	達成	-	
	原単位		4.14	3.58		91%	3.41
	基準年比	4.19	99%	86%		95%	
水道水の削減(本社工場)	m <sup>3</sup> 基準年比	292	-	329	未達成	-	
	原単位		0.46	0.49		113%	0.49
	基準年比	0.46	100%	106%		100%	
井戸水の削減(本社工場)	m <sup>3</sup> 基準年比	2,154	-	2,997	未達成	-	
	原単位		3.37	4.46		139%	4.46
	基準年比	3.40	99%	131%		100%	
トリクレンの使用量削減	Kg 基準年比	29,870	-	36,540	未達成	-	
	原単位		46.68	54.41		122%	53.87
	基準年比	47.15	99%	115%		99%	

### 【第2工場】

電力による二酸化炭素削減(第2工場)	Kg-CO2 基準年比	465,996	-	421,512	達成	-	
	原単位		720.94	627.70		90%	621.42
	基準年比	735.65	98%	85%		99%	
上記、二酸化炭素排出量合計	Kg-CO2 基準年比	465,996	-	421,512	達成	-	
	原単位		720.94	627.70		90%	621.42
	基準年比	735.65	98.0%	85.3%		99.0%	

水道水の削減(第2工場)	m <sup>3</sup> 基準年比	64	-	118	未達成	-	
	原単位		0.10	0.18		184%	0.18
	基準年比	0.10	100%	174%		100%	
井戸水の削減(第2工場)	m <sup>3</sup> 基準年比	1,751	-	1,879	未達成	-	
	原単位		2.74	2.80		107%	2.77
	基準年比	2.76	99%	101%		99%	

## □主な環境負荷の実績

活動項目	内容	2022年度	2023年度
		活動結果	活動予定
二酸化炭素排出量	不要照明の消灯 照明設備のLED化 空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃) ドライレコーダーを導入し無駄な燃料使用の削減 作業ミスによる再処理の削減 営業車へGPSを導入し無駄な燃料使用の削減	○ △ ○ ○ △	継続 継続 継続 削除 継続 追加
	評価及び 次年度の取組内容	コロナ禍の中を通じて生産増・売上が急激に伸びたが社員の日頃からの節電対策・生産計画の見直し(作業効率化)により年間目標が達成出来た。来期も継続するとともに作業ミス撲滅対策に努めて下さい。 営業・業務課内で効率の良いルート営業の結果、年間を通じて目標を達成出来た。来期も更なるルート営業の効率化に努めて下さい。	
廃棄物排出量	分別破棄の徹底 廃棄物の有価化	○	継続
	評価及び 次年度の取組内容	年間を通じて小集団活動・安全衛生で5S活動した事とお客様の梱包材等で目標が達成出来た。 来期もお客様から来た梱包材等は営業で主幹となり製造に横展開をして廃棄物の削減に努めて下さい。	
水使用量	水使用量の把握と排水量確認	×	継続
	評価及び 次年度の取組内容	年間を通じて月次・累計で目標を達成出来なかった。(前年度と同使用量)人員が増加した事も原因の一つだと思いますが、来期は目標達成出来なかった月の調査・対策を行い目標を達成できるようにして下さい。	
化学物質使用量	代替物質の検討	×	継続
	評価及び 次年度の取組内容	急激に生産量が増加し年間を通じて累計での目標が達成出来なかった。未達成の内容を調査し今後の対策を検討して行って下さい。 代替機の検討は生産技術が進めていますが数年後に工場移転も検討しているので会社側で決定した方針で進めて下さい。	

活動結果: ○よくできた △さらに取組が必要 ×できなかった

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
悪臭防止法	悪臭発生物質(有機油剤、オイル等)
消防法(危険物)	焼入れ油、メタノール
消防法	高圧ガス製造所
公害防止組織法	焼入れ施設、洗浄機
化学物質管理促進法(PRTR法)	トリクロロエチレン
顧客要求事項	化学物質管理

法規制については随時調査を行い、追記・遵守をしていきます。  
なお、違反、訴訟等は過去3年間(あるいはこれまで)ありませんでした。



## □代表者による全体の評価と見直し

コロナ禍で急激に生産量が増加した事で目標の達成については未達成項目もあるが計画に対して実施・法規の遵守状況を確認してみると環境活動は社員の考え方や環境に関する活動が定着して来たと思う。今期は、二酸化炭素削減として通常の電力ではなく環境に配慮した非化石燃料を用いた電力へ変更を行った。

また前年度同様に一般廃棄物削減目標の未達については5S活動・小集団活動・お客様からの不要な梱包材の処分が増加しているので改善・対策を取り組んでもらいたい。

本社工場・第二工場の井戸水についても生産量が増加と同時に増加傾向なので設備調査を行い対策を進める事。

法規遵守については今後も継続的に改訂・遵守に取り組むとともに特定工場に関する公害防止管理者の資格取得を継続して進める事。

今後も経済産業省のBCP（事業持続強化計画）とE A 2 1 と 2 本柱で環境に配慮した活動を強化すると共に従業員が働きやすい環境作り、災害時の対策も進めて行く。事業活動においてもSDGsも取り入れて自然との調和を考えながら地球環境保護に全社員で取り組んで行く。

## □美化活動

